

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 生活支援技術Ⅱ	授業の種類 (講義・演習)	授業担当者 高木 明美	
授業の回数 60コマ	時間数 (単位数) 120時間	配当学年・時期 1年通年、2年前期	講師の実務経験 (有) ・ 無
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尊厳の保持の観点から、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を習得する <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメントの方法 ・ 身じたくの介護 ・ 移動の介護 ・ 食事の介護 ・ 入浴・清潔保持の介護 ・ 排泄の介護 ・ 睡眠の介護 ・ 終末期の介護 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の状況を把握するためのアセスメント方法を理解する ・ 自立に向けた身じたくの介護を理解する ・ 自立に向けた移動の介護を理解する ・ 自立に向けた食事の介護を理解する ・ 自立に向けた入浴・清潔保持の介護を理解する ・ 自立に向けた排泄介護を理解する ・ 安楽を意識した睡眠介護を理解する ・ 終末期における介護の意義を理解する 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アセスメントの意味 2 アセスメントの手法について 3 自立支援を支える身じたくの介護とは 4 身じたくにおけるアセスメント 5 整容 6 口腔の清潔① 7 口腔の清潔② 8 衣服の着脱① 9 衣服の着脱② 10 自立支援を支える移動の介護とは 			

- 1 1 移動におけるアセスメント
- 1 2 体位変換①
- 1 3 体位変換②
- 1 4 安楽な体位の保持①
- 1 5 安楽な体位の保持②
- 1 6 車いすの介助①
- 1 7 車いすの介助②
- 1 8 車いすの介助③
- 1 9 歩行介助①
- 2 0 歩行の介助②
- 2 1 歩行の介助③
- 2 2 自立支援を支える食事の介護とは
- 2 3 食事におけるアセスメント
- 2 4 食事の介助①
- 2 5 食事の介助②
- 2 6 食事の介助③
- 2 7 誤嚥・窒息の防止①
- 2 8 誤嚥・窒息の防止②
- 2 9 脱水の予防①
- 3 0 脱水の予防②
- 3 1 自立支援を支える入浴・清潔保持の介護とは
- 3 2 入浴におけるアセスメント
- 3 3 入浴の介助①
- 3 4 入浴の介助②
- 3 5 入浴の介助③
- 3 6 入浴の介助④
- 3 7 清拭①
- 3 8 清拭②
- 3 9 清拭③
- 4 0 自立支援を支える排泄の介護とは
- 4 1 排泄におけるアセスメント
- 4 2 排泄の介助①
- 4 3 排泄の介助②
- 4 4 排泄の介助③
- 4 5 排泄の介助④
- 4 6 採尿器・差込便器・導尿器の使い方①
- 4 7 採尿器・差込便器・導尿器の使い方②
- 4 8 浣腸、坐薬挿入
- 4 9 頻尿、尿失禁への対応
- 5 0 便秘、下痢、便失禁への対応

- 5 1 自立支援を支える睡眠の介護とは
- 5 2 睡眠のアセスメント
- 5 3 不眠時の介助
- 5 4 睡眠と薬
- 5 5 終末期における介護の役割とは
- 5 6 終末期のアセスメント
- 5 7 終末期における介護①
- 5 8 終末期における介護②
- 5 9 臨終期における介護
- 6 0 死後の対応

[使用テキスト・参考文献]
中央法規出版 生活援助技術Ⅱ

[単位認定の方法及び基準]
(試験やレポートの評価基準など)